

## 18. If you were a millionaire, what country would you like to go ?

目標：If+主語+were...と I wish...の二つの仮定法を用いて、現実とは異なる願望を表せるようになる。

対象：中学3年生

時間：20分

準備物：ワークシート

### このタスクの進め方

#### ○Pre-task

- 1、Step 1 として教師は生徒一人を指名し、その生徒と Model dialog を読む。生徒は空欄を埋める。その後、ペアと答えをシェアし、最後に全体で答え合わせ。(3分)

A: Hello Yuto. How's it going today?

B: Hello Kazushi. I'm great. How about you?

A: I'm great too. By the way, did you hear Hanako went to America during summer vacation?

B: Really?

A: Yes. You know his family is a millionaire.

B: Oh, I see. Hmm... I wish I had a lot of money

A: I think so. By the way ,if you were a millionaire, where would you like to go?

B: I would like to go to France.

A: Sounds nice. Which sightseeing place do you want to go?

B: I want to go to Louvre Museum.

A: That's good! And what food do you want to eat?

B: I want to eat macaroon.

A: That's great! Oh! It's about time to start the class! Bye!

B: Bye!

- 2、Step 2 として生徒に「もし自分が億万長者だったら、～に行きたい」というマインドマップを書かせる。(3分)

- 3、Step 3 として、生徒にワークシートにある質問に一つ答えさせる。(1分)

- 4、Step 4 として、話し相手の選んだ国の詳細を知るための質問を考えさせる。

これは Step 5 の会話練習で使うことも知らせる。(5 分)

6、授業の最後に、この活動についての自己評価をさせる。(2 分)

#### ○Task

- 1、Step 5 として、Model Dialog をもとに生徒に会話の練習をさせる。
- 2、Step 5 では教師がペアを作り、時間に配慮しつつ、生徒に会話をさせる。。
- 3、ルール説明を行い、3 回目以降は文章を見ずに会話に挑戦させる。
- 3、英語が苦手な問題文を作れない生徒でもアクティビティに参加できるようにするために、予め例を作っておく。

#### ワンポイント・アドバイス

- ・各 Step でペアと答えをシェアさせ、英語を使用できる時間を増やす。
- ・ペアは教師が決める。
- ・自己評価の欄を使い、生徒に自己評価をさせる
- ・Conversation Strategies のリストを作り、生徒らがより自然な英会話ができるようにする。

(仲谷優斗)